

「平和の灯」劣化調査実施 最新機器と最新技術を駆使

広島県コンクリート診断士会

広島県コ
ンクリート
診断士会

(中区南竹

屋町、米倉

亜州夫会

長)は十二

、十四日の

三日間、平

和記念公園

内の「平和

の灯」の劣

化調査を実

施した。

会員企業から延べ百人
がボランティアで参加し、
最新機器と最新技術を駆
使して調査に当たった。

平和の灯は昭和三十九
年建立の RC 構造物で、
近年は劣化やひび割れが
目立ち観光客に指摘され
る事も。手前の原爆死没
者慰霊碑はコンクリート
で建立後、著しい劣化の
ため御影石製に作り替え
られた過去がある。



調査はコンクリートの
分析試験コア採取や鉄筋
腐食度、ドローンによる
空中写真撮影、三次元レ
ーザー測量などを実施。
今回の結果と今後の室内
試験結果を総合し、長寿
命化提案として八月以降
に市へ提出する予定。

今回の調査で全体調整
を担当した、同会の鈴木
智郎副会長は写真右から
二人目。彼は「世界中の人
が祈りを捧げる構造物の
劣化を、広島人として放
置するわけには行かない」
と話している。